

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2021年12月28日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(1日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	野木町	代表者名	真瀬 宏子
担当者部署	総合政策部	連絡先電話番号	0280-57-4260
担当者役職	係長	担当者氏名	阿部 智彦
住所	329-0195 栃木県野木町大字丸林571番地		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	市川 博之
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	講演内容の打ち合わせでしたが、町のDXの進め方に対するご助言もいただき、大変有意義なものでした。この打ち合わせまでに、何度かメールでもやり取りがあったことや、先生ご自身で町のことをお調べいただいていたこともあり、打合せの内容がより具体的でしたし、進行もスムーズでした。先述のメールでのやり取りのなかでもご助言があり、勉強になりました。
アドバイザーへの要望事項	講演(実地)当日は、何卒よろしくお願い申し上げます。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2021年12月27日	10時00分	12時00分		120
3-2. 派遣場所	会場名	オンライン		最寄駅	オンライン
	所在地	オンライン		最寄駅からの交通手段	オンライン
	派遣形態	事前打合せ(オンライン)			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	情報システム係員	2人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	正しいDXの認識共有と機運醸成、そして職員の情報リテラシーの向上が課題です。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	当町に合わせた正しいDXの認識共有と機運の醸成を多くの職員に浸透させ、その先で、職員一人ひとりが主体性をもってサービスデザインを意識したDXに取り組めるようになること。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	講演内容の打ち合わせ以外にも、当町のDXの方針とオープンデータに関するご支援をいただきました。特にオープンデータに関するアドバイスは費用を掛けずに地域活性化につながる内容であり、すぐに実行に向けて動き出しました。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	講演内容の調整でしたが内容は次の通りです。他自治体での事例を参考に、当町の規模や風土に合わせた内容を具体的に示していただきました。最後まで集中して講義を受けられるような工夫や、講演を受けて終わりではなく、その後のことまでを意識した内容にしていただけたことでした。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	なし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 事前打ち合わせのためアンケートを行っておりません。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	③現段階では課題・問題が残っているため未定
事業の最終的な目指す姿		

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

